

横浜若葉台 みらいづくりプラン推進会議ニュース

旭区役所も参画！

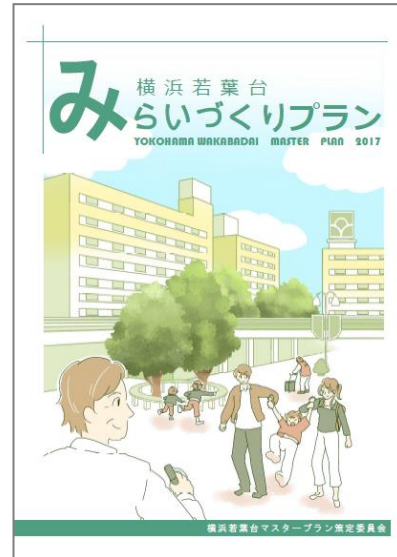
「オール若葉台」のまちづくりを目指して

一昨年2月から昨年3月まで、約1年間の議論を経て横浜若葉台みらいづくりプラン（以下「プラン」）が策定されました。

策定に携わった策定委員会の議論における最大の論点は、このプランを「絵に描いた餅」にしないためにどうするか、という点でした。

そのために必要なのは、まちにとって優先度が高いと思われる重点課題を共有し、できることから一つずつ具体的な取り組みを進めることと、その進捗管理をきちんと行うこと、その内容をひろく周知することであると考えました。

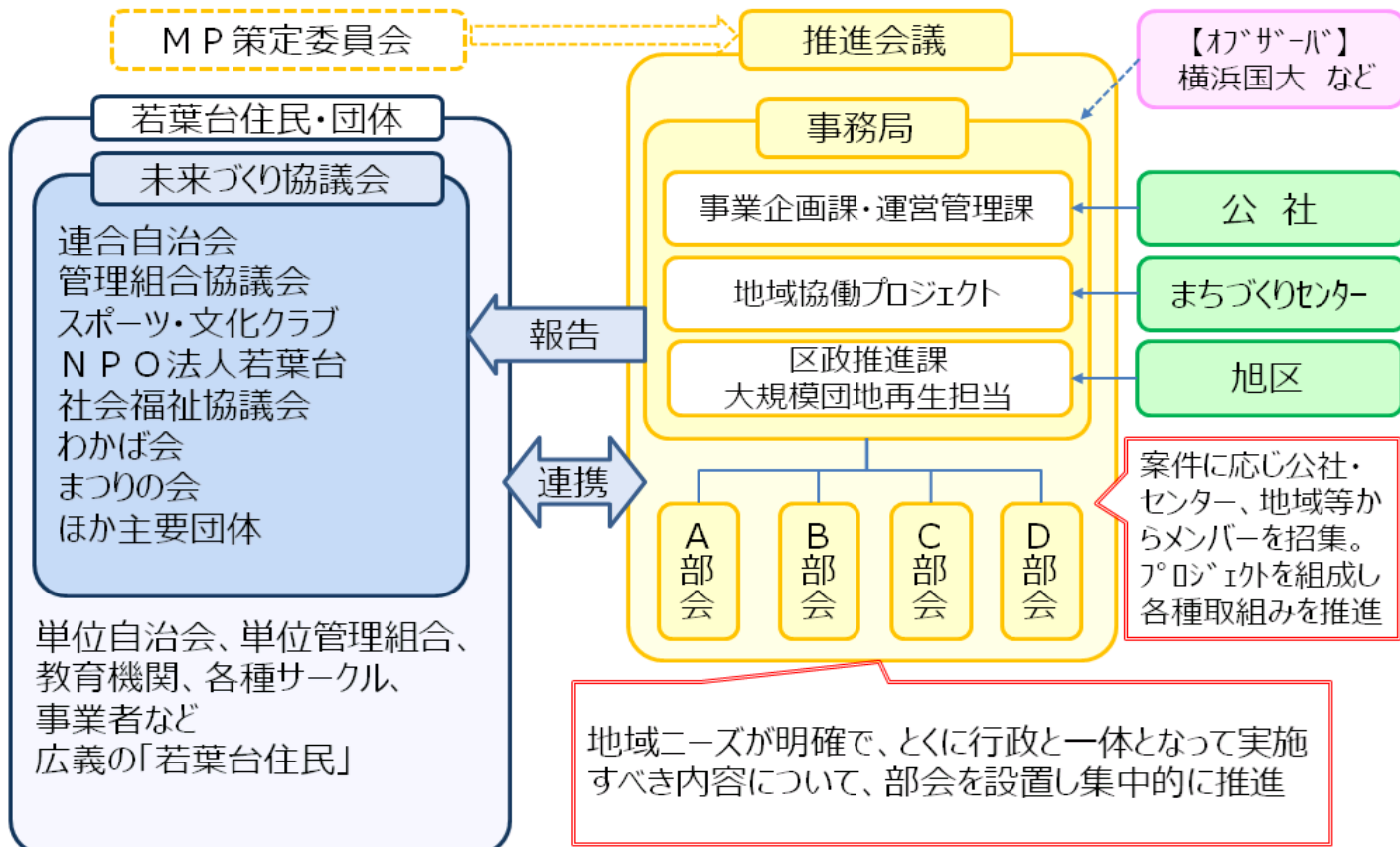
このような背景から、プラン策定の経緯や趣旨を熟知している策定委員会の構成員を基本として「みらいづくりプラン推進会議」を設置。昨年12月6日に第1回会議を開催しましたので、概要を報告します。



みらいづくりプラン マネジメント体制

H29.3 プラン策定に伴い閉会

進捗管理機能として新たに設置



重要な取組みについては作業部会を設置

第1回推進会議では、主に検討体制と運営方法について討議しました。

全体の進捗管理や方向性を議論する「全体会議」と、とくに地域ニーズや緊急性が高い課題について集中的に取組む「作業部会」により構成することとしました。

推進会議発足にあたり、4つの作業部会を立上げ集中的に取組むこととしました。

また、作業部会については必要に応じ「一般参加枠」を設けることも視野に入れ積極的に推進していくこととしました。

【全体会議イメージ】

時期	主な想定議題
2～3月	・ 次年度の重点的取組み
4～5月	・ 新年度の執行体制 ・ 予算等を踏まえた「年度アクションプラン」の策定、確認
9～11月	・ 上半期の振り返り ・ 次年度の「重点的に取組むべき事項」の項目出し

進捗管理と
プランの定期的見直し

【作業部会イメージ】（カッコ内は主な担当セクション）

A部会（旭区）

テーマ：地域団体におけるアクションプラン策定

内容：

- ・ 地域の活動団体に対し、問題意識や課題、将来の取組み方針等のヒアリングを行う
 - ・ 各団体のみらいづくりプランへの関わりと10年後の目標像を可視化
- ⇒アクションプランを策定し、行政の関わり方（支援のあり方）等を検討

B部会（旭区）

テーマ：旧西中学校の本格的な利活用

内容：

- ・ 本格的な利活用に向け、これまでの経緯を踏まえた方針を整理
- ⇒施設のコンセプト、具体的な取組み、運営手法、本格利活用までのスケジュールやロードマップを策定

C部会（公社）

テーマ：土地利用の課題

内容：

- ・ 公社所有事業用地など、みらいづくりプランの目標実現に向けた土地利用の推進策を検討
 - ・ 都市計画変更の協議状況についての共有
 - ・ 土地利用に関する情報収集、課題把握
- ⇒法制度等の課題対応とまちの付加価値向上に向けた利活用メニューの実践

D部会（まちづくりセンター・公社）

テーマ：みらいづくりプランに係る広報全般

内容：

- ・ 推進会議の討議内容、進捗状況に係る地域住民及び外部向け広報
 - ・ 既存媒体やメディアとの連携
- ⇒若葉台及びみらいづくりプランのPRによる認知度の更なる向上と取組みの促進

次回の全体会議は、2月15日に開催予定です。

次号のニュースでは、第2回全体会議の概要と各部会の進捗状況についてお知らせする予定です。

◇ご意見等ございましたら、若葉台まちづくりセンターホームページのお問い合わせページもしくはみらいづくりプラン推進会議事務局公社担当（団地再生事業部事業企画課045-651-1957）まで。

若葉台まちづくりセンター：<http://www.wakabadai-kc.or.jp/> 神奈川県住宅供給公社：<http://www.kanagawa-jk.or.jp/>